

# 木通もれ日

Komorebi Tsushin

## 第21号

平成17年7月  
つきだて花工房発  
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月館町大字下手波字寺窪7  
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887

E-mail: hanakobo@safins.ne.jp  
休館日/毎月第1、第3次曜日(休館日の前日は17時まで営業)  
つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo/>

つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと  
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

### 花のアルバム

アルバムの  
21ページ

トマト

太陽の夏、光 燦々  
元気に育つ  
真っ赤なトマト  
もぎたてをがぶりと食べた  
笑みがこぼれた  
夏のご馳走  
ふるさとのご馳走



翼を広げて  
飛んでいきそうなトマトの花

ゴールデンサンライズ、スーパーローマ、バイタリア、レッドスター、サンタF1、メリーロードそして日本代表、桃太郎！こちらは、夏、大好き野菜、トマトの品種名です。近年のトマトは、形も色もバリエーション豊かでとつてもキュート、ネーミングも、わくわく元気が沸いてくる響きです。  
ナス科・トマトの原産地は南米ペルーのアンデス高地、16世紀にスペイン人が野生種をヨーロッパに持ち帰りましたが、なんと200年もの間は、毒草と誤解されていたというかわいそうなトマト、食用されるようになったのは18世紀以降でした。  
学名を、リコペリシオンエスキューンタムといます。

### お陽さまの匂い

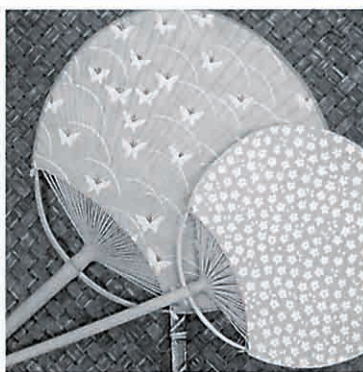
真っ赤に熟したトマトを枝からもぎ取り、「がぶり」：ほおばった瞬間に、口いっぱいシアワセの風味が広がる：という経験をお持ちでしょうか。「いいえ」とお答えの方、さつそくとトマト栽培に取り掛かりましょう！ペランダの鉢植えで、庭の大地で、たわわ



フランスでの愛称は「愛のりんご」

に実る姿を想像して育てます。手入れをするときの青臭い匂い、もぎたてを口に入れたときのお陽さまの匂い：どちらも記憶の底にいつまでも残り、「トマト作り」という夏の楽しみが人生にひとつ加わることでしょう。

### うちわ



扇風機もエアコンもない時代、先人たちは蒸し暑い日本の夏をより涼しく過ごす工夫を惜しみませんでした。軒先に吊るされた風鈴、爽快感を感じさせるお香、打ち水、そして装いは浴衣に草履に団扇。

団扇の歴史は古く、起源は奈良時代。宮廷、貴族の間では涼をとるだけでなく、顔を隠す翳しとしても用いられました。

寝ている子供を扇ぐお母さん、タバタと七輪の火を起すおばあちゃん、子供たちが宵のホタルを捕りに出かけるときの必需品でもありました。

団扇のある風景は、古き温かき家族の日常が甦る、日本の夏の風物詩です。

# つきだて花工房で 思い出の時間を刻む

懐かしい友との語らい  
思いがけない家族のはからい  
笑顔があふれ、会話が弾む  
こころ和むひととき  
つきだて花工房で  
思い出の時間が刻まれてゆく

## 4世代が集う祝いの時

### 鈴木タミさん米寿の祝い

赤い頭巾とちゃんちゃんこを身につけたタミさん。カラオケがお上手な、とても元氣なおばあちゃんです。  
器用で、手先を動かすことが大好き。少し前までは大正琴も演奏されたそうです。元氣の秘訣は、くよくよしないこと。タミさんがいると自然と周りも明るくなるので、デイサービスでも人気者だそうです。今回は長男、進さんのはからいで思い出の時間が刻まれました。



## 昭和19年卒業 小手尋常小学校同級会

つきだて花工房での同級会は今回が二度目。会の段取りをされた田代会長の笑顔(写真前列、右から三人目)、おばあちゃんを慕ってお泊りをした、蘭ちゃんの愛らしさがほのぼのとする一枚です。



昭和19年(1944年)の出来事、抜粋

- (1月) 東京と名古屋に建物疎開命令
- (3月) 松竹少女歌劇団解散
- (7月) サイロ号墜落、東条内閣総辞職、小磯内閣成立
- (7月) サイロ号墜落、東条内閣総辞職、小磯内閣成立
- (7月) サイロ号墜落、東条内閣総辞職、小磯内閣成立
- (8月) 疎開船対馬丸沈没、学童疎開開始
- (10月) アメリカ機動部隊沖縄を空襲、沖縄特攻隊が始めて出撃



4月29日にオープンした「つきだて交流館もりもり」は順調なスタート、月館町の生産者が運営する「やさしい工房」も、着々とリピーターを増やしています。新鮮・安全をモットーに、また良心的なお値段も魅力のようです。この日も福島市からお越しの山本さんたちが、手作り漬物など抱えきれないほどのお買い物をされていました。「花工房」「もりもり」共に、花と笑顔が溢れている今日この頃です!

## 心の休日をつきだて花工房で 個室休憩プランに 花なごみコースが登場

とにかく、お部屋でゆっくり... としておいしいお料理が食べたい... というお客様には見逃せないプランです。



— 花なごみ —  
月曜日・金曜日の  
祝日を除く平日プラン  
3名様以上でお申し込みください。  
お一人様2,800円  
11時~15時まで  
個室休憩+入浴(浴衣付)+お食事  
(お膳お部屋出し)  
\*タオルはお持ちください!ネ!  
\*予約制です(前日の午前中まで)

## つきだて花工房のつちあげばなし

### つきだて花工房で40年来の再会

「お写真を撮りませんか!」  
「それはいい記念になります。お願いしましゅう、ねえ」と、岡山県からお越しの中吉広さん。  
「二緒の関根さんが微笑みながらうなずく。中吉さんは関根さんが19歳で兵隊に入隊、満州時代の上官(中隊長)だった方である。昭和60年、大阪で行われた戦友会でご一緒して以来の再会であった。窓から注ぐ陽だまりがお二人をやさしく包む。  
「たくさん話も出来たし、いやいや、本当によいお土産が出来ましたよ、ありがたかったです。」とお吉さん。  
「旅用のキャスターバッグを引きながら外に出た中吉さんが立ち止まり振り返った。そして花工房の建物に向かってピンと背筋を伸ばし、それから深々と一礼、「よい時間が持てました。まことに感謝です」とおつしやり、もう一礼。  
戦前、戦中、戦後を生き抜いてこられた人生の大先輩の姿に、今、無くしかけていた大切な「こころ」を教えていただいた。感謝するこころ、謙虚なこころ、礼儀の正しさ、そして友を慕うこころ...  
「今日、お帰りですか?」  
「はい、私もあまり丈夫な体ではありませんから...昨日、岡山を発ち、今日は戻ります」  
「礼する中吉さんの姿をいつの日も胸に焼き付けておこう。」「はるばる岡山県から、本当にありがとうございました。どうかお休大事に...」そう願い、感謝しながら花工房を後にするお二人に大きく手を振った。



写真右:中吉広さん85歳、写真左:関根裕一さん80歳

- ご宿泊 1泊2食付...6,500円~(お部屋割の人数によって料金が変わります)
- 日帰り入浴...大人300円・小学生150円 毎月26日はおウロの日 スタンプ2倍
- ランチ営業...11:30~13:30(ラストオーダー) ●個室休憩...11:00~15:00(1日4組様まで)

## ご案内

リーディングアラウドの会  
夏の朗読セミナー#2  
受講者募集開始

- 日時 1日目:平成17年7月30日(土)  
午後1時から午後5時まで  
2日目:平成17年7月31日(日)  
午前9時30分から午後5時まで
- 場所 つきだて花工房
- 内容 \*発声、話し方、アクセント、想像力トレーニングほか  
\*伝える方法、表現方法の研究  
\*課題作「よだかの星」(宮沢賢治著)を声に出して読む  
\*成果発表
- 講師 島岡安芸和先生
- 参加費 \*受講コース 3,000円  
(受講料・教材・2日目の昼食含む)  
\*懇親会コース 6,500円  
(受講料・夕食+お飲みもの)  
\*宿泊コース 10,000円  
(受講料・夕食+お飲みもの+泊り+朝食)  
\*懇親会は1日目の講義終了後、午後6時ごろより行います。講師の先生を囲んで楽しく食事をしながら、交流を深めましょう。

県道月館川俣線沿い、「堂ノ脇乳銀杏」の看板のすぐ近くに福島交通「糠田」バス停があります。他のバス待合所はコンクリートやトタン板、プラスチックが多用されたものばかりですが、この待合所は瓦葺(かわらぶき)の木造で温かみを感じられま



す。プリキの看板も趣があります。県道をはさんで反対側は大糠塚があります。大昔、大徳坊という大男がもみすりをした後の糠(もみがら)を吹き飛ばし、それが積もって大糠塚と小糠塚になったという伝説が伝わっています。

おすすめポイント①  
糠田バス停(大字糠田字美内)

Kenちゃんが歩いた  
Furusato no komichi

糠田地区

田園風景のもつ郷愁  
今も残る農村の原風景  
時計の針が逆回り、逆回り…



小糠塚

おすすめポイント②  
小糠塚(大字糠田字糠塚)

県道月館川俣線沿いを川俣方面に向かつて行くと、熊野神社の少し手前右手にこんもりとした森が見えます。これが小糠塚。「土六羅漢」の案内板に沿って進むと、右手に田んぼが広がる場所があります。そこから眺める小糠塚は、大海原にぼつかり浮かぶ小島のようなです。頂には「西国三十三ヶ所移」と刻まれた石塔と共に、数多くの石仏が並ぶ信仰の場となっています。

Kenちゃん

本名:金澤顕治  
埼玉県出身 川俣町在住 牡羊座  
牡羊座のKenちゃんはギョウザ作りが得意。自家製の小麦で皮から作る。そのためにも朝は早くから起きて、畑仕事に勤しむ。オートバイにまたがり風をきって出勤。今年の4月にオープンした「交流館もりもり」のスタッフとして大活躍中!

今年もつきだて花工房にバロックの風が吹く  
2台チェンバロによる演奏会  
平成17年6月6日(日)開催  
●演奏/山崎充子さん・五十嵐裕子さん  
●木版画による彩り/長澤知子さん  
●共演(昼の部のみ)/月館町立小手小学校  
●全校生徒30名のみなさん  
今年度は豪華2台チェンバロによる演奏会。お二人の息のあった演奏に加え、昼の部では小手小学校の子供たちが純真な歌声と、リコーダーの熱演で大入たちの心を揺さぶった。さらに、会場に飾られた長澤知子さんの木版画が温かなオーラを放ち、美しい旋律で奏でられたチェンバロが二段とその音を響かせたように感じられた。



山崎さん、五十嵐さんと小手小学校のみなさん

夏のSweets

あずき鹿の子  
(12個分)



今回は江戸時代から伝わる伝統のお菓子、鹿の子をご紹介します。

鹿の子はもち菓子の一種。もち、ぎゅうひ、ようかんなどをあんで包んで丸め、みつ煮したアズキのつぶを、表面につけたものです。シカの背のまだら模様を思わせるのでこの名があります。

●材料

- A:かのこ豆(大納言あずき100g、砂糖300g、水あめ5g)
- B:こしあん(大納言あずきこしあん50g、砂糖50g)
- C:つや寒天(水150cc、砂糖75g、粉寒天2g)

●作り方

- ①あずきは洗って、たっぷりの水に一晩つけ、十分に水を含ませておく。
- ②①のあずきを水が入った鍋に入れ、やわらかくなるまでゆで、水にさらす。
- ③150ccの水が入った鍋にあずきを入れ、材料Aの調味料でみつ煮する。
- ④ひと煮立ちしたら火を止めて冷ます
- ⑤材料Bのこしあんを砂糖を鍋に入れ強火にかける
- ⑥だんだん水分が出てくる。木しゃもじで一方方向にあんを練り上げ、さます。
- ⑦⑤をひと口大に丸め、材料Aで作ったかのこ豆をつぶさないように注意しながら、あんのまわりにびっしりとつける。
- ⑧つや寒天をつくり(鍋に粉寒天を入れ、水150ccを加え火にかけ煮溶かす。寒天が完全に溶けたら砂糖を加え煮溶かし、とろみがでるまで冷ます)、つや寒天をハケでぬり固める。

◎ポイント!

仕上げにつや寒天をぬったら、冷蔵庫で冷やし、もう一度つや寒天をぬると、つやが出て、口当たりもよく、より一層おいしくいただけます。

人気急上昇!  
anzu to sumomo の  
生活雑貨プレゼント

- 組み木マグネット5名様
- キーホルダー5名様



木もれ日通信21号  
プレゼント

官製はがきに住所、氏名、年齢と本もれ日通信21号で印象に残った記事を明記し、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送りください。平成17年8月31日消印まで有効です。  
(ご記入いただいた個人情報当館からのご案内のほかサービスマス向上のための資料として活用させていただきます。)

- 【花工房ライブラリー】 ●やさしいことばで日本国憲法(リボンプロジェクト)
- ガラスのうさぎ(高木敏子)
- ベートーベン ピアノソナタ第14番嬰八短調《月光》
- ノスタルジア

楽・百人一首 36番

夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを 雲のいつこに 月宿るらむ

きよはらのふかやぶ  
清原深養父

意味=日が沈んで間もないと思っていたら、いつの間にか夏の短い夜は明けました。沈みおびれた月は、今ごろ雲のどのあたりに隠れているのだろうか。

# Hana

「もれびインタビュー」  
ハーブとスローライフの研究者  
瀧田 勉さん

「はなくらぶ」は皆さまとつきだてて花工房をつなぐページです。お便り・情報など何でもお気軽にお寄せください。お便りお待ちしております。

4月から開講したムーン講座「ハーブ農園教室」の講師を務めていただく瀧田勉さんに、ハーブのお話をうかがってみました。

**Q** ハーブに興味を持ったきっかけは？

**A** きっかけは父と母です。私の両親は郡山市で小料理屋を営んでおりまして。両親は、野山の素材を自分たちで収穫し、調理する献立が得意。厨房の片隅で育った私は、おのずとサービスマを志すようになり、東京の調理師学校へ入学。スパイスとハーブの講義に衝撃を受けました。私も、両親と同じことを目指そうと決めたときは、大きな喜びと感動がありましたね。

**Q** ハーブを育てる楽しさってどんなときに感じるものですか？

**A** ハーブ特有の伝説や、効能、生活への知恵などを考えながら育てていると「層深しくなります。ハーブに秘められたパワーと可能性、先人たちの知恵への感動と感謝をいつも感じながら愛でています。もともとハーブは野生性がとても強いので、四季折々の姿がバリエーションに富み、利用方法も季節や部位により変わっていくのも楽しいですよ。

**Q** 夏に活躍するハーブは？  
夏が大好きなハーブを、その季節



子供たちもいっしょに楽しんでいます！ハーブ農園教室

に利用するのはタイムリーな贅沢。ミントでさわやかさを演出してもよし、バジルで元気もりもり、はまなすやペリ類など実になるハーブは初夏が旬です。幼少を思い出して、つまみ食いを楽しんでみては！

**Q** ハーブとスローライフのつながりは？

**A** 私は「ハーブ」を取り入れたゆとりある暮らしを「スローライフ」と定義付けています。ハーブを無理なく暮らしに取り入れることにより、生まれ出る素敵なゆとり。ゆとりが生まれると思いやりや気配りをスマートに出せるようになります。単に物を買って消費するのではなく、その「モノ」の背景にある「コト」（伝説、伝統、技、人、思い、つながり等々）を考えながら大事に消費

費、あるいは作り出す：ハーブの癒しの香りには、人々が忘れかけていることを思い起こさせる可能性とヒントが多にあると確信しています。

**Q** 郡山酒造組合主催のカクテルコンテストで最優秀賞を受賞されたそうですね！

**A** 日本酒のソムリエ、きき酒師の資格を持っていて、日本酒の消費拡大！を大義名分に、新しい日本酒のファンを増やそうとの思いで、ハーブをアクセントに加え、考え出しました。従来、日本酒をカクテルにするのはタブー視されていますが、あまり液体の副素材を加えていませんので、日本酒の個性が生きた中にハーブがアクセントとなり、見事にコラボレーションできたと思っています。その名は「雪の舞」、今回のハーブ講座の中でも実演を兼ねてご紹介させていただきますね。

**Q** この教室をきっかけに友だちの輪ができて、緑を愛し、育て、見守る方々が増えるといいですね！

**A** 今回の講座で二番の目的にしたかった事です。ハーブはともおしゃべり好きでにぎやかな植物たちです。そして、その恩恵をみんな受けながら伝えあつてゆく。ハーブが取り持つ縁で出来た仲間はずっと長くつながって、いろいろなところに種を飛ばし、どんどん大きな輪になつていくことでしょう。ハーブが一番喜んでくれると思いますよ。みんなが仲良しになること！ハーブはもともと何かと何かをつなぐのがとても得意な植物なんです。受講生のみならずと共に、私自身もハーブ農園教室、楽しみながら進めていきたいと思っています。

これからの日程 ● 7/17日 ● 9/18日 ● 10/16日 受講申し込み受付中



元気に咲いています！



木もれび20号プレゼント  
和の小物 当選者発表

佐藤潤子さん(喜多方市・大場紀子さん(福島市)・佐久間弘美さん(福島市)

市(鳥海山紀子さん(川越市)・須釜容子さん(表郷村)・高木サダ子さん(月館町)・石河けい子さん(月館町)以上7名様おめでとうございます。

**INFORMATION**  
月館町ユリの祭典  
つきだてリリーフェスタ  
7月16日、17日の2日間、すばいく月館にて開催  
●つきだて花工房、つきだて交流館もりの休館日  
「7月」5日・19日、「8月」2日・23日・24日・25日、「9月」6日・20日  
8月は臨時休館日がありますのでご注意ください。

編集後記



ある日の午後、ホテルが飛びそうなお天気です。と声をかけられましたが、悲しきかな私にはそのニアンスがわからず、そして、思えばもう何年もホテルを見ていないことに気づきました。  
毎回、号泣する準備をして挑む映画があります。野坂昭如さん原作の「火垂るの墓」です。4歳と14歳の夏を、高畑勲監督のアニメーションで描いた作品を、作家の群ようこさんは「恒例の終戦記念話」の枠を越えた、さら恐ろしいアニメと解説しています。  
今年には戦後60年目。豊かな物資の背景にある食料自給率、平和の背景にある憲法9条、ホテルを探しに行きながら考えてみたいと思えました。私たちの未来のことを

木もれび20号プレゼント 読者プレゼント 応募券